

平成 2 9 年度

運営に関する計画

大阪市立新北島中学校

大阪市立新北島中学校 平成29年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校の課題である学力については、平成28年度全国学力・学習状況調査結果の国語A・B、数学A・Bのすべてにおいて、全国、大阪府、大阪市平均より大きく下回っている。また、生徒質問紙調査の結果から、「家で学校の宿題をしている」（「している・どちらかといえば、している」）生徒は86.7%で全国平均（90.1%）、「家で学校の授業の復習をしている」生徒は29.1%で、市平均（35.4%）、全国平均（51.0%）を下回っている。しかし、「数学の授業の内容がよくわかる」生徒は67.6%で全国平均（69.4%）をやや下回るものの、「国語の授業の内容はよく分かる」生徒は83.3%で全国平均（74.1%）を上回る。「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」「毎日、同じくらいの時刻に起きている」生徒の割合は、64.8%、91.6%であり、全国平均（75.2%、92.3%）より低い。

本校の「学校生活に関するアンケート」結果から、「自分の健康に気を付けている」と答えた生徒が73%であり、「命の大切さやルールについて十分学んでいる」と答えた生徒が87%であった。さらに「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合は90%であった。また、平成28年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果では「50m走」が男子7.89秒、女子8.81秒で全国平均男子8.03秒、女子8.83秒より速く、「立ち幅跳び」が男子204.61cm、女子174.46cmが全国平均男子194.69cm、女子168.28cmで全国平均を上回っているが20mシャトルランは男子77.10回、女子53.54回で全国平均男子86.24回、女子58.80回を下回った。

これらの結果から、本校の課題である学力の向上については、学校が**言語活動の充実**を図りながら、さらなる**わかる授業への工夫改善**に努める必要がある。また、体力・運動能力においては持久力に課題があり持久力を付けるための取り組みが必要である。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

○平成32年度の「学校生活に関するアンケート」の結果から、「学校に行くのは楽しい」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を28年度より増やす。

○平成32年度の「学校生活に関するアンケート」の結果から、「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を28年度より増やす。

○平成32年度の「学校生活に関するアンケート」などの結果から、生命を尊重し、健康を管理する能力の育成が図られたと認められる生徒・保護者の割合を、平成28年度より増やす。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

○平成33年度の「全国学力・学習状況調査」などの結果から、将来の夢や目標を持っていると認められる生徒の割合を、平成28年度より増やす。

○平成33年度の「全国学力・学習状況調査」などの結果から、基礎的・基本的な学習内容が定着したと認められる生徒の割合を、平成28年度より向上させる。

○平成32年度の「学校生活に関するアンケート」などの結果から、家庭学習の習慣づけができたと認められる保護者の割合を、平成28年度より向上させる。

○平成32年度の「学校生活に関するアンケート」などの結果から、授業の改善が図られたと認められる生徒・保護者の割合を、平成28年度より増やす。

○校内体力調査において、特に課題である「反復横跳び」「20mシャトルラン」の平均記録を、平成28年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果より全学年で向上させる。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- ・平成 29 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。
- ・平成 29 年度の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を 85%以上にする。
- ・平成 29 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を 2 人より少なくする
- ・平成 29 年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。

学校園の年度目標

- ①平成 29 年度「学校生活に関するアンケート」の結果から、「命の大切さや社会のルールについて、十分に学んでいる。」の項目について、「よく当てはまる」「ほぼ当てはまる」と答える生徒の割合を、平成 28 年度より向上させる。
- ②平成 29 年度の「学校生活に関するアンケート」の結果から、「学校に行くのは楽しい」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒の割合を 28 年度より増やす。
- ③平成 29 年度の「学校生活に関するアンケート」の結果から、「学校や地域でよくあいさつをしている」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える生徒・保護者の割合を 28 年度より増やす。
- ④平成 29 年度の地域行事・活動への参加回数を平成 28 年度より増やす。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- ・平成 29 年度の中学校チャレンジテストにおける標準化得点を、前年度より向上させる。（標準化得点とは、各年度の調査の本市の平均正答数が、それぞれ 100 となるよう標準化した得点のこと）
- ・平成 29 年度の中学校チャレンジテストにおける正答率 3 割以下の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント減少させる。
- ・平成 29 年度の中学校チャレンジテストにおける正答率 7 割以上の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント増加させる。
- ・平成 29 年度の学校生活アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。
- ・平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である 20m シャトルランの平均の記録を、前年度より 3 回向上させる。

学校園の年度目標

- ①平成 29 年度「学校生活に関するアンケート」の結果から、「授業がわかりやすい。」の項目について、「よく当てはまる」「ほぼ当てはまる」と答える生徒の割合を、28 年度より増加させる。
- ②平成 29 年度「学校生活に関するアンケート」の結果から、「宿題以外に予習や復習等の家庭学習に取り組んでいる。」と答える生徒の割合を 28 年度より増加させる。
- ③小・中連携を推進し、小学校行事への参加数、出前授業の回数を 28 年度より増やす。

3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立新北島中学校 平成29年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。 ・平成29年度の校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を85%以上にする。 ・平成29年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を2人より少なくする ・平成29年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。 <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ①平成29年度「学校生活に関するアンケート」の結果から、「命の大切さや社会のルールについて、十分に学んでいる。」の項目について、「よく当てはまる」「ほぼ当てはまる」と答える生徒の割合を、平成28年度より向上させる。 ②平成29年度の「学校生活に関するアンケート」の結果から、「学校に行くのは楽しい」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を28年度より増やす。 ③平成29年度の「学校生活に関するアンケート」の結果から、「学校や地域でよくあいさつをしている」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒・保護者の割合を28年度より増やす。 ④平成29年度の地域行事・活動への参加回数を平成28年度より増やす。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策番号2、施策名 道徳心・社会性の育成】</p> <p>生徒の自己有用感の育成をめざし、地域社会に貢献する活動や体験活動を取り入れたキャリア教育に取り組む。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>地域行事の参加や地域清掃活動等の地域社会貢献活動に取り組む生徒数を年間200人以上にする。</p> <p>生徒会、部活動、学年単位で地域活動へ参加する。</p>	
<p>取組内容②【施策番号2、施策名 道徳心・社会性の育成】</p> <p>学校と重度障がい者多用雇用事業所との共同作業である「ふれあい緑化活動」に取り組む。</p> <hr/> <p>指標 「ふれあい緑化活動」を年間3回、各学期に実施する。</p> <p>正門付近の芝生化を推進する。</p>	
<p>取組内容③【施策番号2、施策名 道徳心・社会性の育成】</p> <p>道徳教育の全体計画・年間指導計画に基づいて、道徳の授業研究を推進する。（カリキュラム改革関連）</p> <hr/> <p>指標 道徳の読み物教材による授業を年間20回以上行う。</p>	
<p>取組内容④【施策番号1、施策名 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>支援者となって地域社会に貢献する態度を育てる防災教育を実施する。</p>	

指標 防災に関する講話、体験学習等を年間 3 回以上実施する。	
取組内容⑤【施策番号 3、施策名 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 地域行事に積極的に参加する。	
指標 地域の行事に部活動単位・生徒会単位・学年単位で最低 5 回は参加する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立新北島中学校 平成 29 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度の中学校チャレンジテストにおける標準化得点を、前年度より向上させる。(標準化得点とは、各年度の調査の本市の平均正答数が、それぞれ 100 となるよう標準化した得点のこと) ・平成 29 年度の中学校チャレンジテストにおける正答率 3 割以下の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント減少させる。 ・平成 29 年度の中学校チャレンジテストにおける正答率 7 割以上の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 3 ポイント増加させる。 ・平成 29 年度の学校生活アンケートにおける「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。 ・平成 29 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である 20m シャトルランの平均の記録を、前年度より 3 回向上させる。 <p>学校の年度目標</p> <ol style="list-style-type: none"> ①平成 29 年度「学校生活に関するアンケート」の結果から、「授業がわかりやすい。」の項目について、「よく当てはまる」「ほぼ当てはまる」と答える生徒の割合を、28 年度より増加させる。 ②平成 29 年度「学校生活に関するアンケート」の結果から、「宿題以外に予習や復習等の家庭学習に取り組んでいる。」と答える生徒の割合を 28 年度より増加させる。 ③平成 29 年度のチャレンジテストの正答率を、28 年度より向上させる。 ④小・中連携を推進し、小学校行事への参加数、出前授業の回数を 28 年度より増やす。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策番号 5、子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組み】 学力UP事業を活用して、ICTを利用するなど、わかりやすい授業づくりの実践研究をすすめる。</p> <p>-----</p> <p>指標 全教科でICTを活用した授業研究を実施する。</p>	
<p>取組内容②【施策番号 5、子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組み】 学校元気アップ地域本部事業・区の学習サポート事業と連携して、長期休業中や放課後等の図書室開放時に生徒の自主学習支援を行う。</p> <p>-----</p> <p>指標 長期休業中や放課後等に各学年定期テスト(6回)1週間前の自主学習支援、及び3年生対象の自主学習会を開催し、年間100時間以上の自主学習支援を実施する。</p>	
<p>取組内容③【施策番号 5、子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組み】 学校力UP事業を活用して、放課後英語の補充学習を推進する。</p> <p>-----</p> <p>指標 全生徒に英語検定試験を受験させ、全ての級において、合格率を20%以上にする。</p>	
<p>取組内容④【施策番号 7、健康や体力を保持増進する力の育成】 体育の授業に、全身持久力の向上が期待される種目のトレーニングを加える。</p> <p>-----</p> <p>指標 体育の授業で、毎時間の補強運動に加えて、インターバル走を適時加える。</p>	
<p>取組内容⑤【施策番号 7 健康や体力を保持増進する力の育成】 「夢・授業」等に散り組み、スポーツの楽しさを伝え、運動部に参加する生徒を増やすことで持久力の高い生徒を育てる。</p> <p>-----</p> <p>指標 運動部の入部率を50%以上にする。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

1 総括についての評価

--

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：
年度目標：

3 今後の学校園の運営についての意見

--

児童生徒等の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査の結果から明らかになった現状

1 平成 28 年度の調査結果の概要

自校の取組の成果と課題

区分	成果と課題
① 暴力行為の状況等	生徒間のもめごとが発生したが、生活指導担当を中心とした生徒への指導、保護者への説明ができ解決している。
② いじめの状況等	①全校・学年集会、学級指導などでの声かけでの生徒からの訴えによる聞き取り②「いじめに関するアンケート」相談で実態の把握③生徒の交友関係の状況を様々な場面をとおして把握し、教職員が共通理解を図ることで、いじめを生じさせない学校経営を実践している。いじめと認められる状況をつかんだら、迅速にその生徒に合わせた指導を行い解決することができた。
③小・中学校における不登校の状況等	不登校になった原因は様々であるが、生徒のおかれている状況などを保護者と連携して把握に努めている。すぐには状況が改善されないこともあるが、粘り強く地道に働きかけている。そのことによって登校できるきっかけをつかみ、出席日数が増えてきた生徒もでてきている。
④高等学校における長期欠席の状況等	
⑤高等学校における中途退学の状況等	